要件定義書 ver.0.1

**株式会社 ASW**

（2025年10⽉6⽇作成）

# - ⽬次 -

## 1. 概要

1-1. システムの⽬的

1-2. システム開発の背景

1-3. ステークホルダー

1-4. システムの全体像

2. 開発環境および技術構成

## 3. システム要件

3-1.機能要件

3-2.⾮機能要件

## 4. システム構成・外部連携

4-1.システム構成

4-2.外部連携

## 5. インターフェース

5-1.

ハ

ー

ドウェアインタ

ー

フェ

ー

ス

5-2.

ソフトウェアインタ

ー

フェ

ー

ス

5-3.

通

信

インタ

ー

フェ

ー

ス

# 1. 概要

## 1-1. システムの⽬的

当システムは個⼈とコミュニティとの出会いの場を設けるマッチングシステムである。私たちは何らかのコミュニティに所属して⽣活している。家族、友⼈、学校、会社、または趣味の集まりなど様々だ。 それらのコミュニティは過去から現在に⾄るまで形態や様相を流動的に変化させている。家族で⾔えば２世帯が⽣活していた⼤家族から核家族や⼦供のいない夫婦、または単⾝者。会社・企業で⾔えば正社員登⽤で終⾝雇⽤が当たり前だった時代から転職や⾮正規、有期雇⽤などに変化している。 ライフサイクルが変化する中で希薄と⾔われている近所付き合い、数や種類を増やしているであろう趣味を通してのオフ会やビジネスやプライベートを問わない勉強会。それらをオンライン上で⾏うネットの普及。SNSの発展。コミュニティの数や種類だけ切り取って⾔えば現代の⽅がネットが発達する以前より明らかに増えていると思われる。 だが新規のコミュニティ全てではないにせよいずれのコミュニティも参加する者に安定して役割を提供できていないと危惧している。あるいは濃淡でいうところの濃い部分である。 では、そういったかつての形態のコミュニティを再現したり密度を上げていけばいいのか？ある種現代にそぐわない、または希望しないので様相を変化させてきているのではないか？ 煩雑な⾔い⽅をすれば全従業員強制参加の社員旅⾏が定期的に⾏われ普段の業前業後も時間を共にしなければならない企業があり、⾮正規や有期雇⽤を含めいつ解雇されるかもわからない者が⼈⽣の多くの時間を捧げなければならないというのは酷な話ではないだろうか。その者は⾃然とそういった共同体にのみ属する形となり仕事の不満をこぼすことの出来るコミュニティもそこしかないのである。当然愚痴をこぼすこともできなくなるのである。 こういった前時代的で閉鎖的なコミュニティを再構築するような愚策に⾛ることなく参加する者に役割を供給するにはどうしたらいいのだろうか。

当システムは個⼈と企業または団体がホストとなるコミュニティ、またはその逆、あるいは個⼈と個⼈がホストとなるコミュニティ、企業または団体と企業または団体がホストとなるコミュニティ。いずれの場合も網羅したコミュニティとのマッチングを⾏い、⼈が何かの機能や役割を安定的に担うことのできる幾つかの(数は多くなくてもいい)コミュニティをもつもことができそのことによって⾃⼰の肯定につなげていく。その役割の⼀端を担うことのできるシステムである。

## 1-2. システム開発の背景

<< 現状の課題 >>

個⼈間でのマッチングアプリ・webサービスは多数存在している。 しかし、個⼈と企業や団体その他コミュニティとのマッチングのサービスは業種や業界または⽬的ごとに点在して、その業種の関係者であってもそういったコミュニティサービスがあること⾃体を把握しきれていないのが現状だと思われる。 そういった散らばっているコミュニティを⼀括に統合して個⼈が各々の属性や⽬的によってアクセセスでき、マッチングを⾏うシステム開発を⾏う

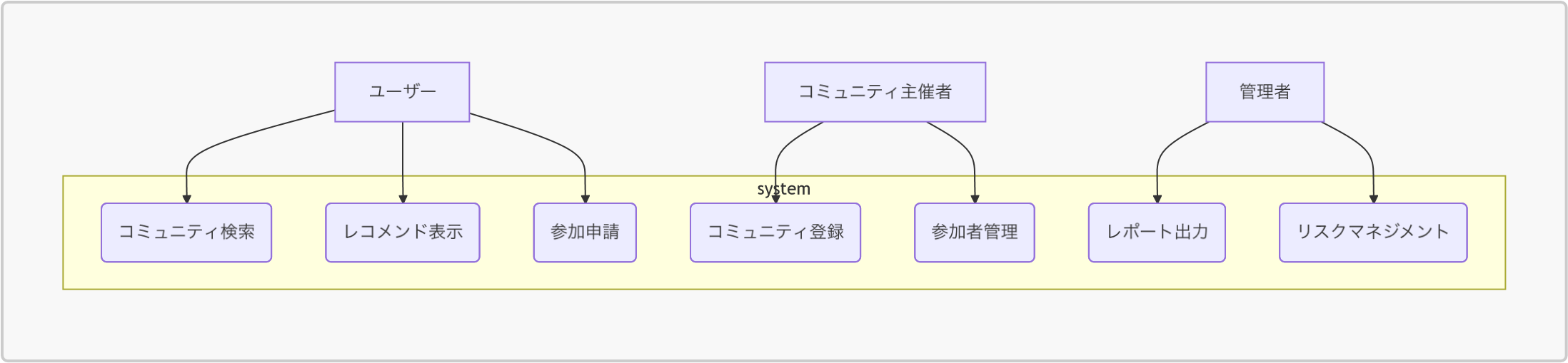
## 1-3. ステークホルダー

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **区分** | **名称** | **役割・責任** |
| ユーザー | 個⼈・企業または団体 | コミュニティの検索・参加申請を⾏う |
| コミュニティ主催者 | 主催者個⼈または企業・団体 | コミュニティ登録および参加者管理 |
| 管理者 | 運営企業 | システムの管理・不正利⽤監視・ホスト側の審査 |
| 開発チーム | システム開発担当 | システムの設計・開発・テスト・保守・運⽤ |

## 1-4. システムの全体像

|  |  |
| --- | --- |
| **システム名** | **役割** |
| コミュニティとのマッチングシステム | 本システムはユーザー(個⼈または企業や団体)がコミュニティ検索もしくはユーザー情報に基づいたレコメンド機能を有する. また、コミュニティの主催側（個⼈または企業や団体）が当システムに開催情報を登録することや参加者を管理することが可能。 |

以下に、システムの全体像を⽰す。



# 2. 開発環境および技術構成

|  |  |
| --- | --- |
| **開発⾔語** | **python, JavaScript** |
| **フレームワーク** | **Django,Django Rest Framework, React, React Native** |
| **データベース・ミドルウェア** | **MySQL, Gunicorn, JWT** |
| **対応アプリケーション** | **Web, ネイティブ** |
| **開発・実⾏環境** | **Docker, git, VScode** |
| **クラウド/サーバー環境** | **Google Cloud Platform(Compute Engine, Cloud SQL, Cloud Storage)** |

# 3. システム要件

## 3-1. 機能要件

**3-1-1. ロール別機能⼀覧**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **ロール** | **ロール種別** | **機能要件** |
| ユーザー | 個⼈ | コミュニティの検索・参加申請 |
| 企業・団体 |
| ホスト | 個⼈ | コミュニティ登録、参加者管理 |
| 企業・団体 |
| 管理者 | 運営企業 | システムの管理、ホスト審査 |

**3-1-2. 利⽤規約同意機能**システム利⽤開始時に、ユーザーは利⽤規約への同意が必須となる。

同意しない場合、登録およびサービス利⽤はできない。

利⽤規約は、システム上で明⽰的に表⽰される。

利⽤規約の主な内容：コミュニティ内での連絡先共有は、各ユーザーまたは組織の責任において⾏う。

本サービスは、当該連絡・取引・トラブル等に関して⼀切の保証・責任を負わない。

利⽤規約の全⽂は別途「利⽤規約書（Terms of Service）」として定義する。

同意履歴はユーザーアカウントに紐付けてデータベースに保存する。

## 3-2. ⾮機能要件

1. **外部連携**

決済システム（外部API）外部決済サービスを利⽤し、電⼦決済を⾏う。

地

図

表

⽰

Google Maps APIを使⽤して会場所在地を表⽰する。

1. **システム外要件**

会場のブッキング

コミュニティ開催に必要な会場予約は、外部の予約システムまたは担当者が別途⼿配する。

本システムでは会場情報の登録・管理のみを⾏い、実際の予約やケータリング⼿配はシステム外で実施する。

ケータリング等の⼿配

コミュニティ開催時のケータリングや付帯サービスは、外部事業者との契約により実施する。

# 4. 開発環境および技術構成

4-1. システム構成

本概要書では詳細なシステム構成は省略する。 システム構成に関しては詳細設計参照

## 4-2. 外部連携

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **外部システム名** | **利⽤⽬的** | **連携⽅式** | **データ形式** | **認証⽅式** | **通信⽅式** | **主な⼊出**  **⼒項⽬** | **備考** |
| Stripe  API | 電⼦決済処理 | REST API  （POST /  GET） | JSON | OAuth2 | HTTPS  （TLS1.2以  上） | ⼊⼒：決済⾦額、トークン化ID  出⼒：決済結果、取引ID | 決済処理は外部  APIで完結、本システムではトークンのみ保持 |
| Google  Maps API | 会場所在地の地図表  ⽰ | APIキー認証 | ⼊⼒：住所または座標情報出⼒：地図デー  タ、位置情報 | 地図表⽰専⽤に利⽤し、会場情報を参照表⽰するのみ。 |

# 5. インターフェース

## 5-1. ハードウェアインターフェース

本システムを利⽤可能なハードウェア機器について、以下に保証範囲を定義する。

|  |  |
| --- | --- |
| **PC** | windows 10以降 mac OS 12 Monterey以降 |
| **スマートフォン** | iOS 16.0以降  Android 12以降 |

## 5-2. ソフトウェアインターフェース

本システムを利⽤可能なソフトウェアについて、以下に保証範囲を定義する。

|  |  |
| --- | --- |
| **ブラウザ** | Edge 138以降  Safari 18以降  Google Chrome 138以降 |

## 5-3. 通信インターフェース

本システムとブラウザまたはネイティブアプリケーション間での通信インターフェースについて、以下に要件を定義する。

|  |  |
| --- | --- |
| **通信プロトコル** | HTTPS(TLS1.2以上)  本システムは常にHTTPSプロトコルでの通信とする。 |